

中山町男女共同参画支援事業【中山町】

地域の実情と課題

山形県全体の特徴として、三世帯同居率が高く結婚後も働き続ける女性が多い。また、派遣社員・パート・アルバイトの割合が低いため、フルタイムで働く女性が多い。中山町の特徴としては、昼夜間人口比率が低いベッドタウンであり、町外で働く人が多い。女性の就業率は高めだが、核家族の割合は増えており、年代別で見ると子育て世代で仕事を続けにくい現状がある。

町民意識調査の結果でも、子育てや介護中でも仕事が続けられる支援や、子育てや介護で仕事を辞めた人の再就職支援等が必要と考える人が多かった。週60時間以上働く人の割合も山形県は全国12位と低いとは言えないこと、共働き世帯での夫婦の家事・育児時間は、妻の方が3時間ほど長いことから、男女ともワークライフ・バランスの推進が課題となっている。

町ではこれまで町民の意識啓発や職場の環境整備に取り組んできたが、家庭でのワークバランスについてはさらなる取り組みが必要である。

事業の特徴

女性の社会参画に向けた家庭内での環境づくりを目的とし、講演とワークショップを組み合わせ講座を開催した。実施にあたっては、参加しやすいテーマを取り上げるとともに、参加者が主体的に学び、自身の今後の実践につなげられる内容とした。

事業の効果

この講座を開催することにより、男性の家庭生活参画を促し、家庭生活でのよりよい環境づくりについて考えるきっかけになった。また、講演とワークショップを組み合わせ講座開催により、日頃の自身の行動を客観的に見つめ直し、他の参加者からの新しい考えを取り入れるなど、相互の意識高揚が図られ、参加者からも高い満足度が得られた。

目的・目標

本事業では、事業目標を審議会等への女性登用率35%（アウトカム）、地区役員的女性登用者数13人（アウトカム）、男性の家庭生活参画促進事業数1事業（アウトプット）、ファミリー・サポート・センター登録者数90人（アウトプット）、参加者の満足度80%（アウトカム）と設定した。参加者の満足度については、アンケートにより出席者全員が「大変満足」「満足」と回答し、審議会等への女性登用率も35%、ファミリー・サポート・センター登録者数128人と目標は達成した。一方、男性の家庭生活参画推進事業数は0事業、地区役員的女性登用者数も0人など目標を達成できなかった。今後、女性リーダー養成講座を開催するなどして、町民全体の意識改革を図っていく。

連携団体

連携体制の名称：中山町男女共同参画推進委員会

構成団体：山形県男女共同参画センター、町女性団体連絡協議会、町商工会、町PTA連絡協議会、町区長連絡協議会、人権擁護委員、一般町民

その他連携団体：山形市男女共同参画センター

今後の課題

地区役員（会長・副会長）の女性登用者数は、R3.2月末段階で0人となっており、地域や家庭において固定的な役割分担意識が根強く残っている。積極的に社会参画を行い、女性リーダーとして活躍する人材を増やしていくことが課題となっている。女性リーダー養成講座を開催するなど、女性の意見を社会へ届ける環境整備を図っていく。

女性活躍推進講座

夫のやる気を引き出す魔法の言葉



講師
コーチング・メンタルヘルス研修PresentTime
代表 塩野 貴美 氏

山形県出身、1男の母。
コーチング（＝質問によってその人のやる気や能力を引き出すことができる方法）やメンタルヘルス、アンガーマネジメントの技術を使って、心地よく生きるコミュニケーションのヒントを伝えている。

会場	中山町中央公民館第1会議室
対象	中山町及び近隣市町にお住まいの女性
日時	2月27日（土）午前10時～正午
参加料	無料
主催	中山町
申込み	2月22日（月）まで氏名、住所、電話番号を電話、FAX、またはメールでお申し込みください。 （定員 12名程度）
お問合せ 申込み先	中山町総合政策課 政策企画グループ TEL：023-662-4271 FAX：023-662-5176 E-mail：kikaku@town.nakayama.yamagata.jp

パートナーがもっと積極的に家事、育児に参加してくれるのになんて思うことはありませんか？
仕事、家事、育児、と大忙しの毎日では、相手の“いいところ”よりも“悪いところ”ばかりが目がいってしまうことも…。

物事を前向きに捉えられたら…
相手の良いところを再発見できたら…
パートナーが家事に参加したくなる一言があれば…
いつもより余裕を持った1日を過ごせるかもしれません。

自分も家族も、みんなが笑顔で過ごせるような工夫を一緒に話してみませんか？

会場では、ウイルス感染症対策を徹底してまいりますので、参加される方も、当日のマスク着用をお願いします。
また、当日発熱や風邪の症状がある方は受講をお控えください。

○事業の狙い

女性の社会参画に向けた家庭内での環境づくりを目的とし、パートナーがもっと積極的に家事・育児に参加できる方法を一緒に考えるきっかけを作ってもらおう。

○事業内容

町内や連携する近隣市町村の住民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの推進と男性のさらなる家庭生活推進を目的として講座を開催。実施にあたっては、講演とワークショップを組み合わせたことにより、参加者が主体的に学び、自身の今後の実践につなげられる内容とした。

